

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「歩く軽井沢」誘導案内看板作製設置事業
事業主体 (連絡先)	軽井沢町 (観光経済課 北佐久銀軽井沢町大字長倉 2381 番地 1)
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,501,200 円 (うち支援金 : 1,000,000 円)

事業内容

当町では観光客へ様々な軽井沢の景色を堪能してもらえるよう、毎年「歩く軽井沢」を作成し、登山道やウォーキングコースを紹介してきた。しかし既存の誘導案内看板を使用してきたため、景勝地を目的とした案内しか行えていなかった。

また近年、インバウンド増加もあり、外国人の方から登山への問合せが増えており、既存の日本語で記載してある誘導案内看板では対応できない状況であったため、エコツーリズムやインバウンドの誘客促進を図ることを目的に新たに信濃路自然歩道に 12 本、旧碓氷峠遊覧歩道に 8 本、誘導案内看板を設置した。



【遊歩道に看板設置】

【目標・ねらい】

- ①観光入込客数の増加
- ②外国人観光客の増加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①軽井沢町の観光入込客調査 前年比 (9 月末現在) 8.2%増加
- ②軽井沢町の消費動向調査の中の観光客層の調査 外国人は前年比 4.2%増加

※自己評価【B】

【理由】

・観光入込客数が目標より 3.2%増加した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

信濃路自然歩道や旧碓氷峠遊覧歩道の登山やウォーキングのように、歩くことにより健康増進を図ることができるうえ、自然環境や歴史文化やエコツーリズムなど、軽井沢の魅力を観光客に伝えることで、その価値や大切さが理解され、保全につながっていき、尚且つ地域の住民も軽井沢の資源の価値を再認識できることから、引き続きウォーキングマップ「歩く軽井沢」掲載内容の見直しと並行して観光客の誘客に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
- 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある